

これまでの研修から

これまでに開催した「こども教育研修会」「保幼小研修会」には、お忙しい中でたくさんの方にご参加いただきました。研修の様子や感想を紹介させていただきます。

第1回こども教育研修会 田子文子先生「あそびを求める子どもの姿と保育者の役割」

保育者として大切なことと共に事例の中の子どもの様子と「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の関連を分かりやすくお話していただきました。参加者は、事例についての田子先生のお話に引き込まれていました。

- ・子どもにとっての遊びの意義がとても分かりやすく、遊びの大切さを改めて知りました。
- ・子どもと一緒に遊ぶことで、自然と心と身体が動き出すということを心に留めて、保育をしていきたいです。

第2回こども教育研修会 横坂好枝先生「活動の主体は子どもです。」

豊かな体験につながる環境について考えよう。」

いろいろな校園所の方とグループを作り、写真をもとに活発に意見交換が行われました。そこで、生き生きと保育について語る様子が印象的でした。子どもにとっての環境の大切さを、改めて学ぶことができました。

- ・子どもが自分からやりたいという気持ち、やりたいことができる環境作りがとても重要だと思いました。
- ・子どもの発見や喜びと一緒に楽しめるようにしたいです。

第3回こども教育研修会 渡邊俊先生「いいね！を見つける保育者になろう」

カリキュラムマネジメントや園内研修の持ち方等について分かりやすくお話をしていただきました。カリキュラムマネジメントというと難しそうですが、「なるほど」と納得でき、職員全体で子どもの「いいね」を見つけることにつながるお話でした。

- ・チームの大切さや職員同士で語り合うことの大切さを改めて知りました。
- ・自分の保育を振り返ることが重要だということを知り、一日の振り返り・評価をすることの大切さを感じました。

保幼小研修会 お茶の水女子大学教授 文京区立お茶の水女子大学こども園園長 宮里暁美先生

「保幼小接続の充実に向けて ～遊びは学びにどうつながるのか～」

幼児教育から小学校教育への接続や幼児期に育みたい資質・能力などについて、図や事例などを示しながらお話をしてくださいました。講義の最後に校園所の先生方同士で意見交換の場がありましたが、時間が足りないほど活発に語り合っていました。子どもに対する思いは、どの先生も同じであることを感じました。

- ・子どもの感じる心に共感し、大切にしていきたいと思いました。
- ・誰もが大切にされる教育活動をしていきたいと思います。子どもの行為の「理由」に思いを向けていきたいです。

今後のこども教育研修会につきましては、これからでも申込ができます。参加をご希望される方は幼児教育センターまでご連絡ください。

また、幼児教育センターでは、幼児教育アドバイザーによる出前研修や出前相談を行っています。環境の構成、援助、個々の幼児への対応、園内研修、子育て等について幼児教育アドバイザーと一緒に考えてくれます。まずは、お気軽にご相談ください。(連絡先：幼児教育センター 230-9089)